事例No.	2401
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	熊本県水俣市

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	医療の確保

事例内容・タイトル

医療アクセス確保と住民のQOL向上のための多職種参加型オンライン連携診療モデルの構築事業

出典

総務省ホームページ

医療アクセス確保と住民のQOL向上のための多職種参加型オンライン連携診療モデルの構築事業（熊本県水俣市）

【事業背景】

R4.7時点

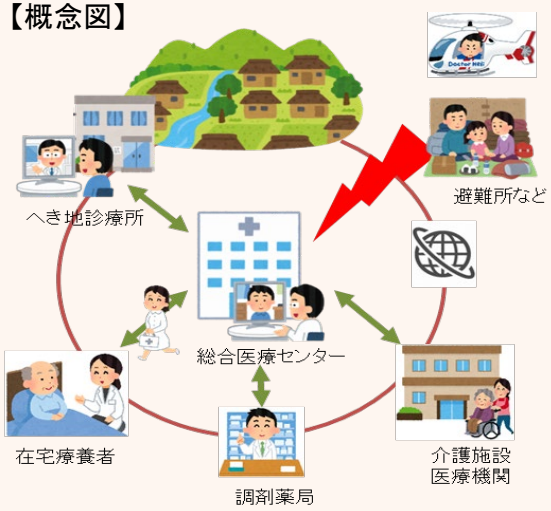
○総面積の75%が山林であり、少子高齢化が進行。
○医療・介護人材の慢性的な不足や居住地域等により発生している医療アクセスの差が課題。

【事業実施主体】水俣市
【R3交付金活用額】9,845千円
【R4交付金決定額】12,527千円

【取組内容】

【令和3年度実施した事業】
○水俣市立総合医療センターとへき地診療所及び市内医療機関、介護施設等（13箇所）を結んだオンライン診療を実証的に実施。
○在宅療養者へのオンライン診療・看護支援を実証的に実施したほか、災害時等の医療インフラ継続に関する実証を実施。

【概念図】



【オンライン診療実証の様子】



【災害時を想定し集会所と総合医療センターをつなぐ実証の様子】



【成果（令和3年度）】
○オンライン診療等のICT等技術の活用に関して、住民のみならず、医療従事者や福祉・介護従事者に対してもその有用性について、実体験を通じて理解を促すことに成功。（実証参加者の約8割が実証に対して満足とアンケートで回答）

【令和4年度実施予定の取組】
○山間地域に、健康相談や受診相談等を気軽に受けられるよう、オンラインの相談等窓口「アクセスポイント」を設置。
○令和3年度に実施した事業を継続しながら、民間の医療機関等へ広げるためノウハウ移転や導入支援を行う。